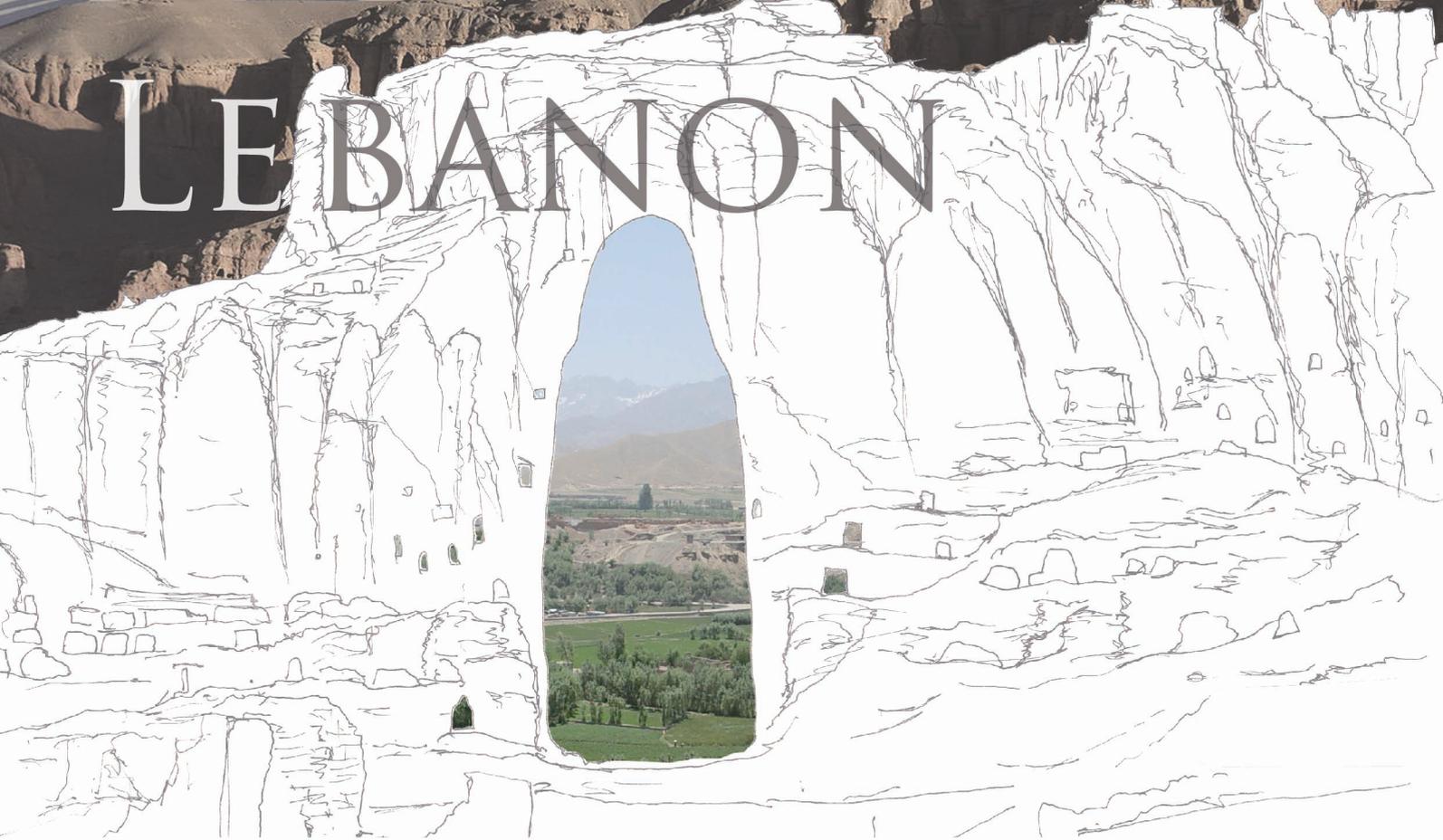


紛争と 文化遺産

AFGHANISTAN
IRAQ



東京文化財研究所シンポジウム

紛争と文化遺産

—紛争下・紛争後の文化遺産保護と復興—

入場無料【申し込み制】定員 120名

英語・日本語（日英同時通訳あり）

2016年1月24日（日）13:00～17:00（開場 12:00）

東京文化財研究所 地下1階セミナー室（サテライト会場：地下1階会議室）

東京文化財研究所



2001年のタリバーンによるパーミヤーン大仏の破壊、2003年のイラクのサダム政権崩壊時の混乱下で行われた考古遺跡や博物館等での破壊や略奪という痛ましい事件の後、日本はユネスコと連携して文化遺産保護のための国際協力を両国において積極的に行ってきました。

内戦中のシリアをはじめとして、今なお紛争等による文化遺産の破壊は続いています。紛争下・紛争後のアフガニスタンやイラクでは、文化遺産の保全や文化復興はどのように行われてきたのでしょうか。過酷な紛争状況下において、危機に瀕する文化遺産を保護するために現地からはどのような国際協力が求められており、今後日本はどのような役割を果たしていくべきなのでしょう。

本シンポジウムでは、アフガニスタン及びイラクの専門家をお招きし、両国における文化遺産保護や文化復興の現状と課題、展望につきましてご報告頂きます。また、両国に先んじて政情がやや安定したレバノンの専門家をお招きし、レバノンでの経験を踏まえた文化遺産保護のための国際協力についての提言も伺いたいと考えています。

パネルディスカッションでは、紛争下・紛争後の文化遺産保護のための国際貢献の在り方について討論するとともに、日本は文化遺産を通じた復興にどのように貢献していくべきなのか、共に考える機会としたいと思います。

紛争と文化遺産

プログラム

開場 12:00

13:00~13:15 開会挨拶

第1部：講演 「紛争下・紛争後の文化遺産保護と復興」

13:15~13:40 文化遺産の破壊、そして復興：日本の文化遺産国際協力
(東京文化財研究所 文化遺産国際協力センター 地域環境研究室長 山内和也)

13:40~14:10 アフガニスタンにおける紛争下・紛争後の文化遺産保護の取り組み
(カーブル国立博物館 前館長 オマラ・ハーン・マスーディー)

14:10~14:40 イラクにおける紛争下・紛争後の文化遺産保護の取り組み
(イラク考古遺産庁 調査発掘部長 ハイダル・オレイビ・アルマモリ)

14:40~15:10 レバノンにおける紛争下・紛争後の文化遺産保護の取り組み
(調整中)

休憩 15分

第2部：パネルディスカッション (司会：山内和也)

「紛争下・紛争後の地域における今後の国際的な文化遺産保護協力の在り方」

15:25~16:50 パネルディスカッション

16:50~17:00 閉会挨拶

参加概要

入場無料【事前申し込み制】 定員：120名
(満席の場合はサテライト会場がございます)

お申し込み方法：

氏名、所属、住所、連絡先(電話番号、FAX番号、Emailアドレス)をご記入のうえ、「紛争と文化遺産シンポジウム」参加希望と明記し、**1月15日**までに郵送、FAXまたはEmailでご連絡ください。
お席に余裕がある場合は当日参加も受け付けております。

ご登録・お問い合わせ：

東京文化財研究所 文化遺産国際協力センター 担当：山内、近藤

住所：〒110-8713 東京都台東区上野公園 13-43

電話：03-3823-4809 FAX：03-3823-4867

E-mail：kondo_hiro@tobunken.go.jp

Website (日本語/English)：http://www.tobunken.go.jp/ (新着情報に掲載)

アクセス

会場 東京文化財研究所 地下1階セミナー室
サテライト会場：地下1階会議室
(東京都台東区上野公園13-43)

交通のご案内 JR「上野駅」公園口「鶯谷駅」南口より徒歩10分
東京メトロ 日比谷線/銀座線「上野駅」千代田線「根津駅」
京成電鉄「京成上野駅」より徒歩15分

